

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>学校の環境整備</p>	<p>吉野は、少子高齢化ならぬ多子高齢化で、若い世代がどんどん移り住んできている。子供の数も増えており、吉野東小学校や吉野小学校は生徒数が1,000人を超えている。プレハブ的な感じで校舎を増設しているが、まだまだ子供が増えるのではないかと思っている。また、特別支援の子供たちも増えているため、教室の数もどんどん足りなくなっている状況。 子供たちの学校の問題について、早急に考えていただければありがたい。</p>	<p>公立小中学校の学校施設については、学校設置者である市町村の教育委員会において整備が行われているところです。 鹿児島市教育委員会に確認したところ、児童数の増加等に対応し、吉野東小学校については、校舎を増築中であり、また、吉野小学校については、今後、増築を予定しているとのことでした。</p>	<p>学校施設課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>吉野地域の道路整備と生活支援活動への支援</p>	<p>吉野地域の人口が増えるに伴い、どうしても車の保有台数も増える。その割には、道路の状況が非常によくはない。</p> <p>今、（吉野第二地区の）区画整理事業が途中まで進んでいるので、早めに県道の拡幅をお願いしたい。</p> <p>そして、おそらく市にも関係するかと思うが、それぞれの家に行き着くまでに、道路の事情が悪く、軽自動車しか通らないようなところが多い。これは最初、団地を作った時に関わることだと思う。</p> <p>福祉の面でも、生活支援の事業をやっている中で、利用者から困っていると連絡があつて家に向かうと、軽自動車がやっと通るぐらいしかない、消防自動車や普通車さえも通れないような道路がある。</p> <p>道路を拡幅するなど、ハード的な支援はなかなか難しいと思うので、生活支援の活動に対する人的補助など、何らかの支援をいただければありがたい。</p>	<p>吉野地区では、小規模宅地造成の激化による無秩序な市街化が急速に進行しており、県道や市道、公園など、都市施設の不足、生活環境の悪化、交通量の増大による渋滞が発生していることから、都市施設の整備改善及び土地利用の増進を図ることを目的として、鹿児島市が土地区画整理事業を実施しています。</p> <p>平成4年度から始まった吉野地区土地区画整理事業では、吉野中学校から花棚までの区間の県道拡幅や周辺的生活道路の整備が行われ、生活環境が改善されてきています。</p> <p>御指摘の大明ヶ丘入り口から吉野中学校の区間についても、平成30年度から事業に着手した吉野第二地区土地区画整理事業において拡幅を行うこととなっており、現在、工事のため必要な宅地の再配置（仮換地）の指定の手続きを行っているところです。</p> <p>県としましては、土地区画整理事業の進捗が図られるよう、鹿児島市と連携して取り組んでまいります。</p> <p>また、生活支援活動への支援については、鹿児島市のボランティアセンターにおいて、ボランティアやサポーター養成講座を開催するほか、ボランティア活動への理解促進や入門講座の開催、活動の担い手となる個人・団体の登録の推進等に取り組んでいるところです。</p> <p>県としては、県ボランティアセンターを通じて、鹿児島市の取組を支援してまいります。</p> <p>なお、消火活動及び救急活動について、鹿児島市消防局に確認したところ、消防車・救急車が進入できる範囲等を把握し、大型消防車両が進入できない範囲については、ミニ消防車や小型の水槽付き消防ポンプ自動車を活用しており、また、救急車が進入できない範囲については、可動式担架等を活用して現場活動を行っているとのことでした。</p> <p>県としては、県内消防本部等における消火活動及び救急活動の充実強化が図られるよう、優良事例等について周知を行ってまいります。</p>	<p>都市計画課</p> <p>消防保安課</p> <p>社会福祉課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
コミュニティセンターの設置	<p>吉野地域は人口がますます増えており、コミュニティセンターは、大きなものがあればありがたいと思っている。</p> <p>毎年、鹿児島市や鹿児島県の方に、陳情しているが、多くの人口が集まると、どうしてもコミュニティセンター的なもの、あるいは災害があった時の避難場所、あるいはコロナ禍の中で、会合するための広い場所が必要になる。</p> <p>そういうところも鑑み、吉野全体のコンパクトシティ的なことも考えていただいて、吉野に大きなコミュニティセンターを設けていただけるとありがたい。</p>	<p>一般財団法人自治総合センターが実施している「コミュニティセンター助成事業」では、コミュニティセンターの建築や大規模修繕等に対する事業費の補助を行っています。</p> <p>具体的な御要望については、自治会等から鹿児島市の地域づくり推進課へ御相談ください。</p>	地域政策課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>企業における脱炭素の取組促進</p>	<p>最近、全国的にゲリラ豪雨のようなものが毎日どこかで発生している。 SDGs 13番の気候変動対策については、県民というよりも事業者にもっと取り組んでいただきたい。 県民の方は、車を替える時に、ハイブリッドや電気自動車に替える流れがだんだん広がりを見せているが、CO2排出には企業がとても大きく関わっている。 事業者の方々の中には、ISO14001とか環境のことに取り組んでいるところは多いが、実際に自分たちが、電気や水道、ガス、自動車からどれだけCO2を排出しているのか把握している企業は少ない。CO2排出量は、県の環境家計簿などでも係数を掛けると出てくる。 2050年のCO2排出量ゼロを目指しているが、まず2030年の半減化に向けて、どこの企業も計画を作成して、県に提出するとか、進捗の状況を毎年報告するとか、2030年までにはみんな電気自動車に変えていくとか、再生可能エネルギーを採用するとか、もっと取組が促進されるような仕組みがあればいいのではないかと。</p>	<p>温室効果ガス排出削減の対策の推進については、産業部門・業務その他部門の県内中小企業事業者を対象に省エネ設備等の導入を支援しています。（令和4年度の募集は終了しました。） また、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進と蓄電池を活用した再生可能エネルギーの地産地消やレジリエンスの強化を目的に、県内の事業者に対して再生可能エネルギー発電設備や蓄電池の導入の支援も行っているところです。（令和4年度の募集は終了しました。） 電気自動車の導入については、かごしま未来創造ビジョンにおいて、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減や脱炭素社会の実現に向け、次世代自動車等の導入促進を図ることとしており、今年度は事業者等を対象に次世代自動車の導入及び充電インフラの整備に係る費用の補助を実施しています。（充電インフラの整備に係る補助については令和4年度の募集は終了しました。） また、事業者が事業活動に伴って排出する温室効果ガスの排出量の把握については、鹿児島県地球温暖化対策推進条例に基づき、事業者は、その事業活動に伴う温室効果ガス排出の量の把握に努めることとされており、同条例により、事業活動に伴い相当程度多い温室効果ガスを排出する特定事業者に対して、温室効果ガスの排出量の削減に関する計画（以下、「削減計画」といいます。）の作成を義務付けるとともに、特定事業者以外の事業者についても削減計画を作成し、提出できることとしています。なお、削減計画を提出したものは、毎年度、事業活動に伴う温室効果ガスの排出の状況及び削減計画に基づく措置の実施状況について報告を義務付けているところです。 さらに、事業者の方々が地球温暖化の現状を理解し、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策に取り組むきっかけとなるよう、今年度開催予定のカーボンニュートラルフェアにおいて、事業者による脱炭素の取組の成功事例や行政・金融機関による各種支援策を情報提供するシンポジウムの開催、再生可能エネルギーや省エネルギー製品の紹介展示などを行うこととしています。 なお、県では、環境保全などSDGsに積極的に取り組む企業等を県が登録する制度を今年12月から運用開始したところです。今後、この制度を通じて、SDGsの普及や企業等の自発的なSDGsの取組を促進していきたいと考えています。</p>	<p>地球温暖化対策室 エネルギー対策課 計画管理室</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>子ども食堂への支援</p>	<p>県内に493ある小学校区全てに子ども食堂ができて、地域や子供のために何かしたいと思う方が、立ち上げやすく、やってみやすく、続けやすい環境にするために4月からNPO法人を立ち上げて活動している。</p> <p>県内には120か所程度の子ども食堂があるといわれており、その多くが、赤ちゃんからお年寄りまで集う地域の食堂として活動しているのが鹿児島県の特徴。</p> <p>ニュースで、鹿児島県の幸福度ランキングが47都道府県で2位だった。地域のために活動したいという思いを、市も県も、後押ししてくれており、取り組みたい人の背中を押してくれる環境が整っていることで、自分たちの地域を自分たちで良くしていく地域になっているのではないかと思う。</p> <p>7月8日に、鹿児島市内に、鹿児島子ども食堂サロンが市の事業でオープンし、子ども食堂に興味のある人ややってみたい人、企業でSDGsのフードロスなどの観点から支援したい人などの相談窓口ができた。</p> <p>私たちがボランティアでやっていることに対し、行政が直接お金を出すことはやる気をそいでしまうので、側面的にサポートする、あるいは住民では抱えきれないような、子供の何らかのSOSをキャッチしたときに、市や県を通して相談したり、ボランティアを守ってもらえるようなことをしていただいているから、子ども食堂は増え続けている。</p> <p>子ども食堂という方法で、地域をより良くしようとする人が増えているということだと思っている。</p> <p>今後、7つの振興局・支庁のエリアすべてに、鹿児島市のサロンのようなワンストップで情報やモノ、ヒトに会える、手に入れられる拠点を設け、それぞれの地域の課題に合ったことを、地域の人が地域の支援を受けて、地域の子供のために活動していくことをやっていきたい。</p> <p>引き続き、県としても一緒に走っていただければありがたい。</p>	<p>県では、子ども食堂への支援として、新規開設に要する経費の助成や、開設マニュアルの作成、アドバイザーの派遣など、新規開設や円滑な運営を促進する取組を行っています。</p> <p>また、昨年度からは、子ども食堂をさらに各地域に広げることを目的に、子ども食堂がない市町村において、子ども食堂を出張開催し、食堂開設のきっかけ作りを図っているところです。</p> <p>今後とも、子ども食堂の活動が継続的に行われ、より広がっていくように、県内各地域の方や民間企業の方から温かい支援がいただけるよう、子ども食堂の活動の周知、普及に取り組んでまいります。</p>	<p>子育て支援課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
降灰対策事業に係る課税	<p>降灰対策事業を使って、みんな立派なハウスを建てて、安定的に野菜を作っている。建物自体が非常に立派なため、その建物に対する税金が負担になるということで、二の足を踏む若手農家が、最近出てきている。事業拡大を進めていく上では、その部分に関しても、何かしらの対策やお知恵があればお伺いしたい。</p>	<p>固定資産税（償却資産）は、条例の定めにより、自治体の各種事業・サービスの財源を賄うために徴収されており、地方税法上、市町村が標準税率により課税しております。</p> <p>このため、税の軽減はできませんが、県としては、引き続き、桜島の降灰等による農作物の被害を防止・軽減するための施設等の整備により農業者の経営安定や地域農業の振興を支援するとともに、必要な予算の確保に努めてまいりたいと考えております。</p>	農政課
農業の良さの情報発信	<p>農業を20年やってきて、消費者のニーズが変わってきていると非常に感じる。自分では、多品目を作り、一つ当たりの単価を上げるという形で、何とかやってきた。</p> <p>ただ、今から20年ぐらい後になると、人口も減っていく。その中で、鹿児島県の農業の良さを伝えていかなければならないが、個人では限界があると思うので、県や市にもお力添えをいただきながら、情報発信していきたい。</p>	<p>県では、県内外での就農・就業相談や県内農業法人への農業インターンシップ、小中学生の農業体験、農業高校や農業大学校での教育・研修などを通じて、就農希望者や将来の農業を担う若者に対し、本県農業の魅力伝える取組を行っているところです。</p> <p>また、県内外の方々の本県での就農意欲を喚起するため、専用ホームページ「鹿児島で農業をはじめよう！」を開設しているほか、県が運営する「かごしまの食」ウェブサイトにおいて、本県で生産される農畜産物や郷土料理など食・農業に関する情報発信なども行っているところです。</p> <p>引き続き、様々な機会を通じて、本県農業の魅力情報を発信してまいります。</p>	農政課 経営技術課
次世代農業担い手サポート事業	<p>鹿児島市で、ハウスを直したりする次世代農業担い手サポート事業があるが、3年ほどしか事業の資金を与えていただけていないため、その部分に関してお願いをしたい。</p>	<p>御意見につきましては、鹿児島市に情報共有を図っておりますので、当該事業については市へ御相談くださるようお願いいたします。</p> <p>なお、県でも認定農業者等に対する各種補助事業を実施しておりますので、詳しい内容については鹿児島地域振興局農政普及課まで御相談ください。</p>	経営技術課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>コロナ禍の行動規制</p>	<p>観光業は、コロナ禍で本当に苦しんでいる業界である。 今、感染者が増えてきているが、その中でも第三者認証のお店については、今のところ、感染対策をしっかりとれば、行動規制は求めないという形を維持していただいているのは、観光業界からすると、非常に心強く、一つのよりどころになっている。 この先の感染状況次第ではあるが、引き続きお願いしたい。</p>	<p>県としては、県民や県外から来られた皆様に、より安心してお店を利用していただくために、感染防止対策を徹底している第三者認証店の登録や利用促進について、引き続き推奨してまいります。 新規感染者数は再び増加傾向となっており、今後、インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、県内の感染状況等を踏まえ、県民の皆様、事業者の皆様に必要なお願いをしてまいります。</p>	<p>新型コロナ対策課</p>
<p>和牛のネーミング</p>	<p>今年、全国和牛能力共進会が開催される。5年前は、鹿児島県が総合1位ということだったが、県民を挙げて、鹿児島牛が本当に全国一なんだということをもっと上手にアピールできれば、これも一つの観光資源なのではないかと強く思っている。 今年も非常に楽しみにしているが、鹿児島黒毛和牛なのか、鹿児島黒牛なのか、ネーミングを統一していただければ全国に発信ができる。観光のお客様がお見えになったときのアピールにも非常にいいと考えている。</p>	<p>和牛のネーミングについては、平成29年に鹿児島県肉用牛振興協議会が、県内で肥育された和牛（黒毛和種の未經産牛と去勢）を「鹿児島黒牛」としてGI（地理的表示保護）登録しています。 また、鹿児島黒牛黒豚銘柄販売促進協議会においても、鹿児島黒牛販売指定店の指定を行うなど、「鹿児島黒牛」のPRと販売促進に努めています。 「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」においては、本県から出品した「鹿児島黒牛」が全9部門中6部門で首席となり、また「種牛の部」では内閣総理大臣賞を受賞する等、「和牛日本一」の栄冠に輝くことができました。これまで5年の長きに渡り出品者をはじめ、関係機関・団体が一丸となって「チーム鹿児島」として出品対策に取り組んだ成果であると考えております。県としては、この「和牛日本一」の称号を前面に打ち出し、国内外に向けて積極的なPRに取り組み、更なる「鹿児島黒牛」の販路拡大につなげてまいります。</p>	<p>畜産課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
スポーツ・コンベンションセンターの設置	<p>ドルフィンポートの跡地に、今度できる体育館と いうのか、アリーナには非常に期待している。もち ろん体育館という機能はなくてはならない機能だ と思うが、鹿児島にはコンベンション的な、様々な大 会を誘致しようとしたときに、開催する会場がな い。コンベンションだったり、MICEを呼び込む のに、非常に鹿児島の弱い部分なのかなと思う。 箱物というのはいろいろ意見があると思うが、そ ういう大会を誘致できる場所がないという状況が続 いてはいけないので、何とかその辺も加味してい ただき、検討いただければありがたい。</p>	<p>県体育館は、築後60年以上が経過し、一 部の競技では、大会の開催に十分なスペ ースが取れない状況にあることから、新たな 総合体育館の検討を進めています。 本年3月、スポーツ利用に加え、コン サートやイベント（MICE）など多目的 利用ができる施設として、スポーツ・コン ベンションセンター基本構想を策定しまし た。 同施設はメインアリーナのフロア面積が 約3,700㎡、観客席が8,000席程度の規模を 想定しており、同施設の整備により、これ まで県内で開催できなかった大規模なコン サートや、学会、国際会議等の開催が可能 となります。 県としましては、今後、基本構想に基づ き、整備に向けた取組を着実に進めてまい ります。</p>	スポーツ施設 対策室
ICT産業の推進と若者の定着促進	<p>鹿児島で働いていても、給料がなかなか上がら ない一方、物価はどんどん上昇していく。独身であ れば問題ないが、今後、結婚して家庭を持つと、生活 が厳しくなるのかなと考えている。正直、都会で暮 らした方が、給与的にも安定した生活を送れると思 うので、鹿児島に住むメリットをあまり感じられ ない。また、学生たちも、どんどん都会の方に流出 しており、このまま鹿児島が衰退していくのではない かと考えている。 今、日本全体でICT産業がどんどん伸びてい て、いろんな分野でAIが活躍し、今後もどんどん 発展していくと思う。鹿児島県が、もっとそうい ったところに力を入れて、有名な企業等を誘致して いただければ、将来有望な若者の働く場所や住む場所 の選択肢に、鹿児島県がなっていくのではないかと 思う。</p>	<p>県では、本県の特長であるアジアに近い 地理的優位性や、国内外を結ぶ充実した交 通インフラ、優秀で豊富な人材、豊かな地 域資源など魅力あふれる立地環境を積極的 に広くPRしながら、企業の誘致に取り組 むとともに、本県に立地する企業に対して は、事業の新設・増設、設備の更新に対 する補助等の支援を行っています。 令和3年度から情報関連企業への支援内 容を拡充するなど、より一層力を入れている ところです。 また、若者等の県内就職を促進するた めには、魅力ある県内企業の情報を積極的 に発信して伝える取組が必要であることか ら、独自の高い技術力等を有する企業を紹 介する「かごしまエクセレントものづくり 企業ガイド」や就職情報提供サイト「かご job」の運営、合同企業説明会の開催など を通じて県内企業の魅力発信に取り組んで います。 さらに、若者等の県内定住を促進するた め、鹿児島の暮らしやすさや働きやすさを 紹介するリーフレットや県の広報媒体等 を活用し、鹿児島で暮らすことのメリッ トを広く発信しているところです。 今後とも、積極的な企業誘致や本県で働 く魅力の発信等に取り組み、若者の定着 促進に努めてまいります。</p>	産業立 地課 産業人 材確 保・移 住促進 課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
吉野公園のペット入園	<p>県が管理してる公園はペットの入園が禁止されているが、鹿児島市が管理している公園は入園OKで、その差を少し残念に感じている。</p> <p>以前、県が吉野公園の利用者にだけ、ペット入園許可のアンケートを取ったと聞いた。現在、吉野公園は、ペットの入園が禁止されているため、反対意見が多くなるのは当たり前だと思う。例えばホームページやSNSを利用して、もっと意見を広く募集できたのではないか。一部区域だけでも、ペットの入園が認められれば、喜ぶ人が大勢いると考えている。</p> <p>ペットを家族同然だと思われてる方は数多くいるので、是非そういった人々の気持ちをくんでいただきたい。</p>	<p>吉野公園等の県立都市公園においては、衛生上の問題や事故防止等の安全上の観点から他の利用者への配慮が必要であることなどから、ペットの入園を禁止しています。</p> <p>一方、現在、県立都市公園におけるペット入園の在り方について、検討を進めており、吉野公園等におきまして、公園の設置目的や周辺環境、利用状況等を踏まえ整理した条件の下、10月1日からペット入園の試行を行うとともに、公園を利用される皆様の御意見・御要望等も広く伺っているところです。</p> <p>試行の状況等を踏まえながら、更に検討を進めてまいります。</p>	都市計画課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
八重山の風力発電計画	<p>私たちの住む地域周辺で風力発電事業が計画されており、私の家からは700メートル弱のところから2基建設予定になっている。この地区で一番影響を受けるのは10世帯にも満たないが、確実に騒音や低周波音の影響を受けることになり、災害のリスクも高まる。しかし、私が住む自治体のほとんどの方は影響を受けないので、多数決では圧倒的に不利な状況。</p> <p>八重山山頂の周辺には鹿児島市の自然遊歩道が整備されており、多くの方がハイキングなどで訪れる。また、八重山の南側には農林水産省のつなぐ棚田遺産に選定された八重の棚田があり、棚田から望む八重山は、桜島や錦江湾などの眺望が組み合わさり、ほかにはない魅力的な景観を楽しむことができる。しかし、計画が進めば、景観が重要視される棚田からも、風力発電機がとても大きく見えることになる。先日公表された環境アセス準備書の県知事意見にもあったが、今回の風力発電計画は、鹿児島県条例の景観形成ガイドラインの基準を満たさない。鹿児島市民が大切にしている八重山の景観を壊してまで行うべき事業なのか、疑問に感じている。</p> <p>また、今回計画が持ち上がった八重山周辺は、景観や騒音などの影響が強く懸念される鹿児島市の土砂災害特別警戒区域であり、土石流、地滑り、急傾斜地の崩壊が起こりうる地域でもある。多くの懸念を抱えたまま無謀な計画が進んでいくことは許せない。</p> <p>塩田知事にも現場に来ていただき、私たちの声を、地域の被害の実情を知っていただきたい。そして、この計画に対する懸念を、意見書に述べられたとおり、東北3県の知事のように広く表明していただきたい。</p>	<p>八重山周辺の風力発電計画については、騒音、超低周波音、景観、人と自然との触れ合い活動の場、建設残土等に係る影響が強く懸念される場所です。</p> <p>県は、環境影響評価手続の知事意見において、関係市長、住民等及び専門家の意見、現地調査の結果などを勘案し、風力発電設備等や土捨場について配置の取りやめや変更の検討を行うこと等の環境保全上の意見を経済産業大臣に述べたところです。</p> <p>その後、経済産業大臣は、知事意見等を踏まえ、事業者に対し、風力発電設備等や土捨場の配置の見直しを行うこと等の勧告を行うとともに、知事意見の写しを送付しております。勧告を受けた事業者は、知事意見を勘案するとともに勧告を踏まえて、事業計画や環境保全措置等に検討を加えて評価書を作成し、評価書に記載されているところにより、環境の保全についての適正な配慮をして当該対象事業を実施するようにしなければならぬものとされています。</p> <p>なお、景観形成ガイドラインについては、風力発電施設の建設に当たって、事業者が遵守すべき基準や調整手順を示すことにより、環境上の影響を未然に防止することを目的に定めております。県としては、事業者から協議書が提出された際には、関係市の意見を聞きながらガイドラインが適切に遵守されるよう求めてまいりたいと考えています。</p>	エネルギー対策課 環境林務課
八重山の風力発電計画	<p>八重山は、子どもと一緒に登山をした思い出の山だと思っている。その八重山に、風力発電計画が進められていると聞き、説明会に参加したところ、山頂の広場の数十メートル先に、高さ154メートルと、日本最大級の風力発電が建設予定であることが分かった。</p> <p>署名活動を開始し、八重山こいやまを守る会を立ち上げ、13,421筆集まった。地元の郡山の方で600近く集まり、これは6,700人の郡山の方々の11人に1人が反対をしていることになる。</p> <p>先日、その事業者を招き質問したが、甲突川が非常に不安だと、草牟田の方から発言があった。8.6水害の時も甲突川流域で被害があったが、事業者は全く問題ありませんとの回答だった。それはおかしいと思い、土砂災害等の問題が起きたとき、誰が因果関係を証明するのか尋ねると、事業者の方から返事がなかった。このような状況で風力発電が建てられると、遺恨を残すと思い、今日対話に参加した。</p> <p>最後にお願いだいが、知事と、八重山こいやまを守る会で、是非一度お話をしていただけませんか。また、他県でも風力発電が問題になり、先日も宮城県の蔵王で、関西電力が計画していたが、宮城県知事が反対を申し入れたと聞いた。</p> <p>是非、大変、懸念のある事業なので、中止を要請していただきたいが、もし、中止を申し入れるとすれば、その条件はいかなるものか、教えていただきたい。</p>		

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
川内原発20年延長に係る県民投票	<p>知事が2020年の県知事選で当選したときに、公約として、川内原発の20年延長問題について、確か県民投票を行うことを掲げていたと記憶している。前回県知事選に出られた方で、脱原発に現実的に一番近いのは塩田知事ではないかと思い、投票した。</p> <p>私としては、県民投票を行ってほしいと思っているが、実施する意思はあるのか、また、県民投票が必要な場合とはどのような場合か、教えていただきたい。</p>	<p>川内原発については、原発の立地県として、九州電力と国に、安全性の確保を求めているところです。また、県民の生命と暮らしを守る観点から、川内原発の安全対策・防災対策の充実・強化に取り組んでおります。</p> <p>川内原発の運転期間延長については、昨年12月に設置された県原子力専門委員会の分科会において、特別点検結果や劣化状況評価について検証しているところであり、引き続き、科学的・技術的な検証を行い、委員会に報告を行うこととしています。</p> <p>専門委員会は、分科会からの報告やこれらの検証結果を踏まえて、委員会としての意見を県へ報告することとしています。</p> <p>県では、原子力規制委員会による判断が行われる前に、専門委員会の意見等を踏まえて、原子力規制委員会及び九州電力に対して厳正な対応を要請することとしています。</p> <p>県民投票については、専門委員会の意見が集約されない場合において、県民の意向を把握するために、公聴会やアンケート調査、パブリックコメント等の他の手段より適切であると判断した場合が想定されるところであり、今後、様々な観点から検討を行い、総合的に判断したいと考えています。</p>	原子力安全対策課 地域政策課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>里親への支援</p>	<p>何らかの理由で、家庭で育つことが難しい子供たちを預かる、いわゆる養育里親をしている。</p> <p>当時、小学校6年生の姉と小学校1年生の弟の兄弟を預かった。この子供たちはずっと施設で育ってきたが、施設の園長先生が、子どもたちに家庭的な営みを経験して、社会に出てほしいと、私たち里親のところに預けられた。しかし、施設で育った子供たちの背景は、とても複雑なものがある。今、一般的に問題となっている虐待、それから生育歴という部分に関してとても難しい。その子達を途中で預かって育てるのは、とても大変。自分の子供を育てたことがあるから、里親として子供を育てられるというものではない。</p> <p>この子供たちを預かったときには、わざと怒られるようなことをしたり、かんしゃくを起こして物を倒し、部屋をぐちゃぐちゃにしたりした。それは私たちの愛情を試そうとしていると知識を持っていたので、その行動を見ただけで、子どもたちをしかることはならなかった。</p> <p>しかし、今、1年未満で4人に1人が、里親としてギブアップをしているという現状がある。それほど子育て途中での養育が大変だということを表している。</p> <p>そういう里親を支援するフォスタリング機関、つまり里親の支援を行う機関が、九州の中で、鹿児島県にだけ設置されていない。このフォスタリング機関が、今、国の法律で位置付けられ、2024年施行になってるはずだと聞いている。県でこのフォスタリング機関を設置されるときには、ぜひ私たち里親の声も聞いていただきたい。また、フォスタリング機関を設置されるのであれば、どのようにこの機関を作るのか、その設置経過を分かるように、私たちの方にもオープンにしていきたい。県の中で、分からないうちに事業所が決まってしまうとか、委託事業所が決まってしまうとか、そういうことにはならないようにしていただきたい。可能であれば、県の子ども家庭課や児童相談所と、私たちが一緒に話を持てるような機会を持っていただけたらありがたい。</p> <p>私たち里親は一生懸命育てているが、子どもたちのエネルギーには負けてしまう時があり、本当にギブアップしそうになるのを何とか思いとどまっている。里親を支えてくれる機関が欲しいと切実にお願いしたい。</p>	<p>いわゆる「フォスタリング業務」は、里親制度の普及啓発や里親からの相談対応、里親研修の実施、子供と里親家庭のマッチングなど、里親支援に関する業務であり、児童福祉法の規定により、都道府県が行うこととされております。</p> <p>また、その業務の全部又は一部を民間機関に委託することができることとされ、包括的に委託を受けた民間機関が「民間フォスタリング機関」とされています。</p> <p>本県では、現在のところ、フォスタリング業務を包括的に委託できる受け皿を確保できていないところですが、里親制度の普及や里親研修の実施など業務の一部については、県里親会など民間機関に委託し、連携して里親への支援に取り組んでいるところです。</p> <p>県としましては、フォスタリング業務の包括的な委託の受け皿となる民間機関の確保に向けまして、他県における包括的な委託状況の調査等を行っているところです。</p> <p>令和6年4月施行の改正児童福祉法では、現在、フォスタリング機関が行っている里親からの相談対応や子どもと里親家庭のマッチングといった里親支援事業のほか、里親に養育される児童並びに里親になろうとする方について相談その他の援助を行う施設として「里親支援センター」が新たに位置付けられました。</p> <p>里親支援センターに関する設備及び運営に関する基準や児童福祉法に基づく許認可手続等の具体的な内容については、今後、令和6年4月の法改正の施行までの間に示されることとされておりますので、国の検討状況等を踏まえて、関係機関等の意見も伺いながら対応を検討する必要があると考えています。</p>	<p>子ども家庭課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>障害者と健常者が一緒に生活できる社会づくり</p>	<p>現在、高校を卒業して鹿児島障害者職業能力開発校に通っている。訓練所を出てみて思うことは、障害者と健常者が分かれて活動したり、働くことがあるということ。 障害者と健常者が分かれるのではなく、共に生活できる社会をつくってほしい。障害者はいろいろな人がいるが、障害者と健常者が共に生活できる社会を考えていただきたい。 また、塩田知事にぜひ、鹿児島障害者職業能力開発校を一度訪れていただきたい。</p>	<p>障害のあるなしに関わらず、誰もがその能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指して、障害者雇用促進法に基づき、障害のある方の雇用対策が総合的に進められています。 県では、就職に必要な知識・技能の習得を図るための職業訓練を実施しているほか、「障害者就業・生活支援センター」や「障害者就業開拓推進員」を設置し、ハローワークとも協力しながら、求人開拓や企業における障害のある方の雇用体験事業などを実施しているところです。 今後とも、関係機関と連携しながら、障害のある方の雇用の場の拡大に取り組んでまいります。 また、県では、働く意欲のある障害者がその適性に応じて能力を十分に発揮し、住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、県内7か所の障害者就業・生活支援センターに生活支援担当職員を配置し、雇用・福祉・教育等の関係機関と連携しながら、障害者の就業に伴う生活面に関する助言などを行っています。 今後とも関係機関との連携強化に努め、障害者と健常者が一緒に働ける社会づくりを推進してまいります。</p>	<p>障害福祉課 雇用労政課</p>
<p>県民に近い県政</p>	<p>住民の方々との距離の近いところで、井戸端会議ではないが、そういった近しい雰囲気のところこそ、生活の悩みなども出て来やすいのではないかと。こういう機会はもちろんすごくいいと思うが、もう少し、県政との距離を近づけるような取組が行われていけばいいのではないかと。</p>	<p>県民の皆様との率直な対話を行う場として、知事とのふれあい対話をこれまで30市町村で開催したところです。公募等により多様な年代・職種の方々に御参加いただき、また、事前にテーマ等を設けることなく、多岐にわたる地域課題やその対応策について、自由に御意見をいただいております。 併せて、対話で各地域を訪れる際は、現地の視察を行い、それぞれの地域において産業の振興や地域づくりなど様々な取組が行われている方々から、直接お話を伺いしているところです。 また、本年4月には、鹿児島大学において、学生の皆さんに鹿児島県の取組などについてお話しし、質疑応答の時間も設けさせていただきました。 今後とも、率直な意見交換がしやすい雰囲気作りに努めながら、私自身が直接足を運んで現場を見たり、生の声をお聞きするという機会を増やしていきたいと考えております。</p>	<p>広報課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
桜島噴火に係る危機対策	<p>先日、桜島が噴火し、その噴石が一定距離以上飛んだため、警報が出た。その時、桜島が身近にありすぎて、災害が起こるかもしれないという意識をあまり持ちにくいと思った。近いから魅力も知っている。いい面でもあるが、弊害もあるのだと感じた。</p> <p>そういった災害に対する、県の対応や取組、あとは、市町村や自治会などの取組を促進するような政策等を、もう少ししていただいたり、教えていただければありがたい。</p>	<p>桜島については、県、関係市、防災関係機関及び火山専門家等で構成する火山防災協議会を設置しており、県では、火山現象の状況に応じた警戒避難体制の整備や、地域防災計画の見直し等に係る全体的な調整を行っています。</p> <p>また、県、関係市及び関係機関等の実務者で構成する桜島火山防災連絡会を設置しており、平時から火山活動や火山現象等の情報共有を行っているほか、災害発生時には、避難対象者や関係機関の防災・応援体制等に関する情報共有や調整等を行っています。</p> <p>昨年7月からは、関係市の避難計画の実効性を高めるため、県及び関係5市による広域避難も視野に入れた、勉強会を行っています。</p> <p>桜島の大規模噴火に備えて、円滑な避難等ができるよう、毎年、鹿児島市と共催で桜島火山爆発総合防災訓練を実施し、防災関係機関の相互連携、住民の防災意識の高揚に努めているところです。</p> <p>県内には、桜島以外の活火山が10火山あり、県防災研修センター内に火山災害コーナーを設置し、桜島を含む県内の活火山や火山災害の状況、火山防災の心得等について分かりやすく解説しており、県内各地の自治会の方々をはじめ、多くの県民に研修に活用していただいています。</p> <p>また、県防災アドバイザーを各地に派遣して、火山防災に関する研修会や出前講座を実施し、県民の防災知識の普及啓発に努めているところです。</p> <p>県としては、引き続き、関係市町村、防災関係機関と十分連携をしながら、火山災害への対応力の強化を図るとともに、県民の防災意識の高揚、防災知識の普及啓発・理解促進に取り組んでまいりたいと考えています。</p>	<p>危機管理課</p> <p>危機管理課</p> <p>災害対策課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
知事の決断	<p>皆様の話を伺い、吉野だったり、環境だったり、子ども食堂、あと農業だったり、スポーツ・コンベンションセンターの話、あと八重山とか、あと障害者の件、いろいろな課題があった。</p> <p>そういった課題を進めていく中で、まとまらないとき、行き詰まったときに、塩田知事がトップダウンでやっていくという気持ちがあるのかなのか。</p> <p>例えば、スポーツ・コンベンションセンターにしても、塩田知事からトップダウンで事業を進めていく気持ちがあるのかどうか、教えていただきたい。</p>	<p>トップダウンで決めるかは、その課題や場面にもよると思っています。</p> <p>行政としての取組は、県庁という組織の中で、組織的な判断をする必要があると思っています。いろいろな判断材料を踏まえた上で、しっかり判断するべきこともあると思っています。</p> <p>トップダウンで決めるかどうかは、判断材料のそろい具合、あるいは、時間的な余裕、物事の性質等で判断する必要があると思っていますので、臨機応変に考えていきたいと思っています。</p>	-
福祉専門職員の充実	<p>仮定の話だが、熱が出て病院に行くと、県の観光課から人事異動で来たドクターがおり、2か月間研修を受けて、医療の知識があるから大丈夫ですと言われたら、そういう方に診てもらいたいだろうか。</p> <p>今の児童福祉は、そのような状況。</p> <p>厚生労働省子ども家庭局の令和3年度の調べによると、児童相談所における福祉専門職の割合は、全国平均が73%、これに対し鹿児島県は約18%、そして、73%が一般行政職となっている。これで児童福祉、虐待問題が解決できるのか非常に不安。過去には、出水で起きた虐待死の事件もある。</p> <p>今後、福祉の専門職が増えることを願っている。</p>	<p>福祉施設の専門職員については、社会福祉士の資格を有する者や児童自立支援施設の業務経験がある者などを対象に採用しているところです。</p> <p>また、各児童相談所に配置する職員については、児童相談所勤務をはじめとする児童福祉に関する業務経験や児童福祉司の資格を考慮した、適材適所や人材育成などの視点も踏まえて配置しています。</p> <p>今後とも、児童相談所の体制強化を図る観点から、福祉施設の専門職の確保に努めてまいります。</p>	<p>子ども家庭課</p> <p>保健医療福祉課</p>
ファミリーホームへの助成	<p>社会的養護を必要とする子供たち6人を、24時間365日預かっている。最近では、虐待を受けたお子さんや発達障害のお子さんなどを預かるケースも多く、私たち夫婦2人だけで対応するのが難しくなっている。個別に関わってほしい子供たちがたくさんおり、人が足りない状況。</p> <p>国は、大体約1人分の人件費408万円を予算計上し、補助事業として国が半分の204万円を持ち、残りの半分は各地方自治体で見てくださいということ。もちろん地方自治体の予算の都合があるので、全ての県がやってくれるわけではないが、できればこの204万について、予算を何とか都合をつけ、常勤職員として1人雇えるようにしていただきたい。</p>	<p>ファミリーホームの運営に必要な費用については、国の基準に基づき、ファミリーホームを運営するために必要な職員の人件費、その他事務の執行に伴う諸経費等を委託費としてお支払いしているところです。</p> <p>御要望のあった件については、現在、児童養護施設なども含めて、補助者等を雇い上げ、夜間業務やケアニーズの高い子どもへの支援等の体制を強化し、直接処遇職員の業務負担軽減を図るための支援について検討を行っているところです。</p>	子ども家庭課

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>観光振興 （アウト バウン ド）</p>	<p>日本人の国際線利用が一番ピークだった2011年に、鹿児島空港を利用する日本人のシェアは、6割であった。ところが、2019年になると日本人シェアは16.7%と、かなり下がってしまった。鹿児島空港の国際線を利用するお客様の中で、日本人が16.7%しかいないということ。</p> <p>海外の航空会社が出てきたときに、外国人の方が12倍ほどに膨れ上がったが、日本人の利用は1.5倍止まりだった。これが何を意味するかというと、飛んでいく路線の先、いわゆる鹿児島県に対して、それだけのマーケットしかないのであれば、判断材料が飛んでくる航空会社の国の判断に頼らざるをえない。例えば、香港であれば、100%に近いぐらい香港の方になるが、香港のマーケットが冷え込んだら、日本には頼れないからやめようというような話が出てくるということ。</p> <p>そして、今日伝えたかったことは、海外勤務で営業しているときに、鹿児島県が全く知られていないと感じた。特に欧米では、日本に来たことがある方の1.2%ぐらいしか鹿児島を知らない。</p> <p>そこで、ぱっと見て鹿児島と分かるような、ファーストインプレッションができるノベルティを作ったらどうだろうかと考えた。今、火山灰シラスを一部取り扱っている会社で働いているので、シラスを使った、洗顔石けんを海外に持っていくと、イメージがかなりついて、今、日本の大手のホテルさんでもそれを入れていただき、鹿児島の発信につながっていただいている。この火山灰シラスに関しては、ジオパークの販促にもつながるということで、一石二鳥ではないだろうかと思っている。</p> <p>今、福岡空港では6月に70名の団体が入ってきて、8月には30名の韓国人の団体が帰ってくる時代になってきた。鹿児島空港は、3,000メートル級の滑走路を持っている空港としては九州で2番目なので、是非とも知事にはトップセールスを早めにやっていただき、魅力ある鹿児島を営業していただきたい。</p>	<p>鹿児島空港国際線は、新型コロナ禍前においては、旺盛なインバウンド需要に比べ、アウトバウンドの割合が低く、路線の安定的運行における課題であると認識しています。</p> <p>県としては、イン・アウト双方向による利用促進を図るため、関係機関と連携しながら、需要喚起対策を行ってまいります。</p> <p>なお、現在は新型コロナの影響により、国際線は全便運休となっているところで、まずは、国際線の早期再開に向けて取り組んでいただくよう国に要望しており、引き続き、国に対して必要な働きかけを行ってまいります。</p> <p>海外での認知度向上に向けては、現在、海外ビジネスパートナーや県内在住外国人等を活用したSNSによる情報発信のほか、海外メディア招請による情報発信に取り組んでいるところです。</p> <p>なお、海外への渡航が本格的に再開されましたら、トップセールスを含めた、現地で開催される旅行博覧会等でのプロモーションなどを通じて、認知度向上に向けた取組を積極的に進めてまいります。</p>	<p>PR観 光課 交通政 策課</p>

知事とのふれあい対話（鹿児島市）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
シラスによる基腐病対策	<p>基腐病が非常に問題になってる中で、種子島で4500坪にシラスをまいて、実験している。</p> <p>5月にまいた安納芋畑の環境が良くなってきて、7月末の段階では、基腐病が出てきてないという状況。これが9月の収穫期になったときに、どういう効果が出てくるか、地元の、足元に目を向けた特効薬になるのかなと思っているので、これを市の管轄のグリーンファームの方でもそういった実験をしていただいているので、御承知おきいただければと思う。</p>	<p>県では、今年度、農業開発総合センターにおいて、苗消毒剤や残渣分解資材の試験に取り組んでいるところです。実験の結果については、また御教示いただければと思います。</p> <p>今後とも、民間の知見を活用しながら、基腐病の防除技術の確立に向けて取り組んでまいりたいと考えています。</p>	農産園芸課
鳥獣被害対策	<p>国にいる知り合いから聞いたが、JR東日本で取り組んでいる観光列車（三陸沖鉄道）で、鹿の追突事故が年間で242頭ぐらいあったとのこと。</p> <p>これに頭を悩ませていたとき、広島に境界守という製品を作っている会社があり、スズメバチの羽音と臭いを、線路に平行したパイプにつけたら、年間1頭もこなくなったという実績を伺っている。</p> <p>地方自治体も3県で取り扱っているとのことだが、なかなか知られてない。そういった鳥獣被害対策もあるということで、お知りおきいただきたい。</p>	<p>鳥獣被害対策についての情報提供をありがとうございます。</p> <p>野生鳥獣による農作物の被害の防止・軽減について、県では、寄せ付けない、侵入を防止する、個体数を減らすといった3つの取組を総合的かつ一体的に進めており、市町村等が行うイノシシ、シカの電気柵などの整備や、アドバイザー派遣による研修会を通じた集落ぐるみの取組を支援しているところです。</p> <p>新技術の活用については、既導入事例における被害防止効果や費用対効果も踏まえながら、研修会等における情報提供について検討してまいります。</p>	農村振興課